

お告げのマリア修道会



まごころ会

2022年9月

TEL095-846-8300

<https://otsugenomar>

ia.jp

「すべてのいのちを守るための月間」

厳しい暑さ、思いもかけない大きな災害、新型コロナウイルス感染症の爆発的蔓延など、過ぎようとしているこの夏もそれぞれに大変な日々をお過ごしのことと存じます。

今年も「すべてのいのちを守る月間」が巡ってきました。

「すべてのいのちを守るための

キリスト者の祈り」

宇宙万物の創り主である神よ、

あなたはお創りになったすべてのものを

ご自分の優しさで包んでくださいます。

わたしたちが傷つけてしまった地球と、

この世界に見捨てられ、忘れ去られた人々の叫びに気づくことができるよう、

一人ひとりの心を照らしてください。

無関心を遠ざけ、貧しい人や弱い人を支え、

ともに暮らす家である地球を大切にできるように、

私たちの役割を示してください。

すべてのいのちを守るため、

よりよい未来をひらくために、

聖霊の力と光でわたしたちをとらえ、

あなたの愛の道具として遣わしてください。

すべての被造物とともに

あなたを賛美することができますように。

わたしたちの主イエス・キリストによってアーメン

まごころ会会員帰天、お祈りください

・マリア 鎌田キヨ子 75歳 紐差教会

・マリア 濱本マサ子 90歳 三井楽教会

・セシリア 山下フジノ 滑石教会

「被造物の声に耳を傾ける」

日本カトリック司教協議会会長

カトリック東京大司教 菊地 功

※2022年「すべてのいのちを守るための月間」

メッセージ

世界のキリスト教諸教派は、ともに、9月1日からアジジの聖フランシスコの祝日である10月4日までを「被造物の季節」と設定し、ともに暮らす家のために祈り、また守るよう呼びかけています。カトリック教会もこのエキュメニカルな活動に参加するよう教皇庁総合人間開発省が毎年呼びかけを行っており、日本では「すべてのいのちを守るための月間」として取り組みが行われています。

今年の被造物の季節のテーマは「被造物の声に耳を傾ける」で、詩編19編2〜5節から取られています。

天は神の栄光を語り

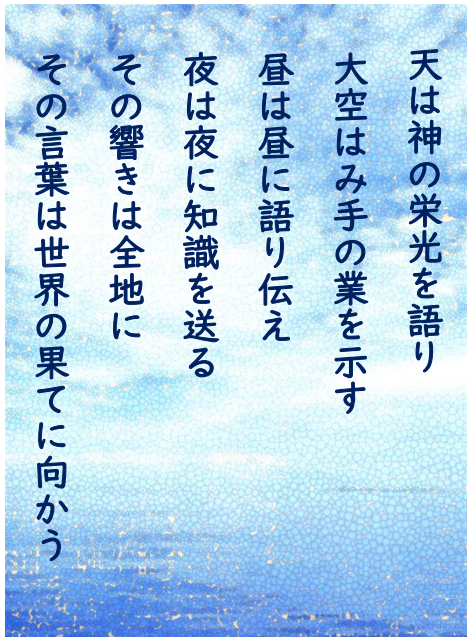
大空はみ手の業を示す

昼は昼に語り伝え

夜は夜に知識を送る

その響きは全地に

その言葉は世界の果てに向かう



わたしたちは「話せず、語れず、声が届かない」被造物や貧しい人々の叫びに耳を傾けるよう招かれています。あなたが住む地域では、どんな声が聞こえますか？人々の圧力によって聞こえないよう押し潰されてしまっている声はありませんか？どうかこの期間に「わたしたち自身の中での調和、他者との調和、自然やいのちある他の被造物たちとの調和、そして神との調和といたたさまざまなレベルで、エコロジカルな平衡を回復」（ラウダートシ210）していくことができるよう、祈り、身近で実行することが出来る小さな取り組みを行ってください。